



ろ! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第13号

●●●●● 世界の中で宗像の特性とは? ●●●●●

「グローバル」とは世界が一体化する、という意味があります。人、情報、経済の流通が世界規模となり国内規定から世界基準へ、少子高齢化などの現況を背景に時代のグローバル化を実感しています。地方都市である宗像も世界に直面しており、世界規模のイベントやプログラムが開催され、地域交流が行われています。

国際的なスポーツイベント、<サニックスワールドラグビーユース交流大会>が開催され、南アフリカのチームは赤馬館での着物着付け、茶道体験、むなかたガイドによる観光案内を通して市民と交流しました。地元とのふれあいは非常に魅力があり、2019年ラグビーワールドカップのキャンプ地誘致にも好印象を与えています。

また、国際的な環境会議である<第二回宗像国際環境100人会議>が開催されました。次世代に何が必要か、長期的視点で考える環境問題と宗像人の畏敬崇拝の心は同じ価値観であると感じます。参加者は漁師や海女とのフィールドワーク、通訳ボランティアとの交流によって宗像人の心根を体感しました。

宗像は古来、海外交易を行う世界への玄関口でした。海洋民族であった宗像人の特性は世界に向かって船出する行動力、外来を受け入れる大らかな気質であるといわれています。長い時代を経て、宗像人の価値観が世界遺産登録活動で見直され、グローバル人材育成事業で未来につながろうとしています。私達のアイデンティティを明らかにすることが時代の潮流にのり、次世代の指針になります。宗像でどのように行動を起こし、世界につながっていくのか、考えていきます。



サニックスラグビーワールドユース
ニュージーランド、南アフリカなど世界の
強豪国を含めた24チームの高校ラグビー
世界一決定大会です。選手同士は試合を通
じて交流し、期間中に約2万人もの人々が
訪れました。



第二回宗像国際環境100人会議
「地方から世界を変える、宗像の挑戦」で
あり、ここで次世代に教えたことを世界に
広げることが宗像で会議を行う意義、との
ことでした。宗像国際育成プログラムでは
地元の中学生に特別塾を開講しています。

外国人旅行者を宗像に誘致するインバウンド観光は？

クールジャパン、ビジットジャパンといった国家戦略、円安、航空機、クルーズ船増加により訪日観光客が増加し、総訪日客数は前年比で約50%増、過去最多を更新しています。宗像市を訪れる外国人旅行者は平成26年度で5万7千人、経済効果が5億円程度、韓国を中心としたアジアからの訪日が大部分を占めています。

外国人旅行者向けに宗像の観光を分析すると

セールスポイント

- 新幹線発着駅から30分、国際空港から50分でアクセスできる立地条件
- 豊かな自然とおいしい食事、人が優しい、物価が安い、大学など教育施設の充実

デメリット

- セールスポイントが伝わりにくい、宿泊施設、公共交通機関、情報が少ない

着手計画

- 訪日客の大幅増加により大都市圏で宿泊施設不足、物価上昇している現状下、地方自治体が連携して訪日客を呼び込む戦略も行われ、地方に広がる
- 都会では体験出来ない自然体験型アクティビティー（イチゴ狩り、農場体験、地引網）+シーフードやビーチバーベキューなどの食事を提供
- 宗像大社の3女神にクローズアップし美、女神をコンセプトとしたストーリーメイキング
- 教育旅行、研修先、合宿先、田舎体験プログラムとして学生マーケットにアプローチ

などが考えられます。

宗像のおもてなしは評価が高く、交流は更なるつながりを生みます。宗像人の価値観や心根をブランディングして、民泊、ファームステイ、アイランドステイといった交流主体の観光に力をいれるべきです。

アジアに最も近く、世界への玄関口であった歴史をもつ宗像。長い時代を超えて、再び、たくさんの外国人が訪れる活気のあるまちになる、というストーリーはロマンがあります。

その特性を活かし、観光だけでなく産業、教育、文化とあらゆる分野でのグローバル化をすすめていくことが地域間競争を勝ち抜く道だと考えています。

一般質問の会議映像は宗像市役所ホームページで見ることができます。
また、日々の活動はfacebook【facebook.com/goyo4da】にて。ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！



南アフリカの高校生に着物の着付け体験。市民とのふれあいで宗像の魅力が伝わりました。

●●●● 吉田ごう議員活動ダイジェスト ●●●●



平成27年

4月 入学式や花見とたくさんの行事がありますが、ラグビーで鎖骨を骨折してしまいました。怪我は慣れっこですが、治りが遅く年齢を感じます。また青少年指導員の会長となり地域防犯パトロールを行います。

5月 GWのラグビーワールドユースでは各国のラグビー関係者に2019年ラグビーワールドカップキャンプ地をアピールしました。反応は非常に良いです。
宗像国際環境100人会議が開催され、ディスカッションなどにフル参加しました。有識者、学生、企業、行政と多方面の方々との会話は刺激になります。

6月 平成27年度第二回定例会が行われ、屋外広告物条例を制定するなど審議を行いました。委員として参加している都市計画審議会においても昨年度より景観計画、景観条例と審議しています。宗像の広がりある風景は未来に残すべき価値のあるものだと考えます。